高松市議会議員 無所属 市民派
太田あゆみ 議会・市政報告ニュースレター

2018 年 10 月発行

あゆみのあゆみ

第 19 歩

編集・発行：太田あゆみ
〒760 - 0068 高松市松島町 2 丁目 4－12 mm_ayumitai@outlook.jp
087-862-7227 080-6398-4607

一歩進んで二歩さがる ?!

高松市議会、一般質問回数制限を廃止へ！…でも…？

これまで高松市議会では、 議会運営委員会（少数会派は入れない）で「議会改革」の議論がおこなわれてきました。
継続審議となっていた条例改正案は、 9 月定例会で否決。 本当に「市民に開かれた議会」をめざしているのか、 疑問です。

質問時間が半分に！

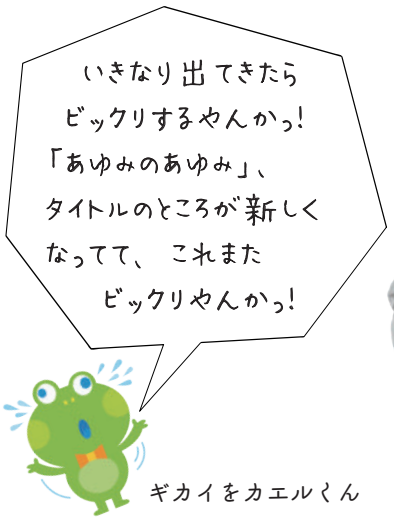
これまで、「ひとり年 2 回まで」と制限されていた高松市議会の一般質問。 ようやく、 来年 6 月定例会から毎定例会質問ができる「年 4 回」への見直しがされました。
しかし、 同時に決まったひとりの質問持ち時間：年間最大 60 分（1 回の発言時間時間を 15 分・20 分・30 分から選択）は、 発言回数制限する以前の年間最大 120 分と比較すると半減です。
「効率化」だけを求めて、 議員の発言を制約する今の議会のあり方は、「市民のことを考えた政治」とはかけ離れています。
議会は、 言論の府。 議員の質問時間を確保し、 政策提言をおこなったり、 市政をただしていくことが議員の仕事です。 2004 年までは普通におこなわれていた、 年 4 回、 持ち時間 1 回 30 分にできるよう、 今後も議会改革に取り組んでいきます。

パフォーマンスはどっちだ ?!

「質疑（議案等に対して、 議員が疑問点を問いただすこと）や、 答弁に対する再質問はみだれている」「再質問は、 パフォーマンスだ」「事前に答弁調整をしっかりすれば再質問の必要はない」などの意見が議会運営委員会で相次ぎました。
答弁調整というのは、 本会議場で初めて当局の答弁を聞くのではなく、 事前にこういう質問や答弁をします、 ここの文言はこういうふうな表現の方がいい、 というようなやりとりを当局とおこなうことです。
これって、 本会議場での質問は単にペーパーの読み上げだけで、 こちらの方がパフォーマンス（＝演技 [広辞苑より]）ではないのでしょうか。
納得のいかない答弁にはしっかり再質問をする。
議員に認められた「発言自由の原則」を守るべきと考えます。

カタチだけの「議会基本条例」

高松市議会には、「議会基本条例」という条例があります。 随時見直しをおこなうことになっていますが、 これまで議論されたことはありません。
市民への積極的な資料提供、 すべての議員視察の報告書を公開、 議会基本条例の年 1 回以上の検証を求める条例改正案を提出していましたが、 否決に。
賛成：市民派改革ネット、 共産党、 市民フォーラム 21
反対：自民党・同志会・公明党・無所属



高松テルサ、穴吹学園に 5,000 万円減額貸し付け？！

いつの間に方針変更？

屋島西町の高松テルサを、 学校法人穴吹学園に対して年間約 1,500 万円で貸し付けるという議案が可決。

そもそも、 高松テルサは「公共施設再編整備計画案（1 次）」において、「2022 年度末までに売却を含めた廃止を検討する」という結論が出されていました。

その後、 施設の活用方法についてサウンディング型市場調査（公募による民間事業者の意向調査や聞き取り）をおこないました。 しかし、 この調査は失敗に終わります。

そこへ、 穴吹学園が「専門職短期大学設置についてご協力のお願い」という文書を昨年 12 月 12 日に高松市に提出し、 話が進んでいくのですが…。 しかし！これより前、 12 月 8 日にはすでに本市と穴吹カレッジグループが協議をはじめていることが会議録で明らかになっています。

議会の責任が問われる！

地方自治法では、 基本的には「適正な対価」でなければ自治体の財産は貸し付けできないけれど、「議会の議決」があればかまわない、 ということになっています。

それだけ、 議会の責任は重いのです。

このようにひとつの企業ありきの契約方法は不透明で不適切、 5,000 万円もの減額貸し付けは正当ではない、 あまりに唐突な決定事項で市民への説明責任を果たしていないという理由で、 議案には反対しました。

史跡高松城跡桜御門復元整備工事 3 度目の入札も…

これまでの工事入札の経緯

- 2017 年 7 月
  安藤・ハザマ四国支店　約 2 億 8,000 万円で落札
- 福島第一原発事故の除染作業に絡む詐欺事件により指名停止に。
- 2018 年 1 月
  清水建設四国支店　約 2 億 7,000 万円で落札
- リニア中高新幹線建設工事談合事件で指名停止に。
- 2018 年 8 月
  安藤・ハザマ四国支店　約 2 億 7,700 万円で落札
- 作業員 5 名が亡くなる火災事故が起きた多摩市ビル新築工事の元請業者として、 業務上過失致死の疑いで 8 月 28 日、 家宅捜索。
- 総務常任委員会で「継続審査」に。

市が見込んでいたのは、 来年の瀬戸芸秋会期に間に合うスケジュールでの復元工事。 しかし、 相次ぐ指名停止で完成予定は大幅に延期。

そもそも、 この「門の復元」工事の必要性はあるのでしょうか？

桜御門石垣には、 高松空襲の被害を受けて赤く変色している箇所が見られます。 目に見える高松空襲跡や、 空襲のことを語れる人が少なくなっている現在、 復元よりも、 むしろ今の形を後世に残すことの方が必要だと考えます。

中途半端に継続審査にするのではなく、 議案には反対しました。

保育士さんが足りない！

保育士確保緊急対策の予算、わずか 100 万円

保育士不足により、 保育所等に入所できない子どもは 62 名。

高松市から待機児童をなくすには、保育士があと 30 名必要です。

このため、 市内の私立保育所等に再就職しようとする潜在保育士に、 準備費用を上限 10 万円で助成する事業を今年度からおこなっていますが…応募は現在 0 件。 理由を問うと、「離職から時間が経ち、 仕事復帰への不安感があるのではないか」との答弁。

保育士の抜本的な処遇改善を！

「保育士の仕事の大変さを理解すべき。 根本的な処遇改善が必要！」と再質疑をしました。 市長は自治体としての独自の賃上げは考えておらず、 本来国がおこなうべき、 全国市長会を通じて今後とも国に要望していくとのことでした。

議案には賛成しましたが、 今後も粘り強く、 保育士の処遇改善を訴えていきます。

インターン生からのひとこと

わたしたち市民派改革ネットは、8・9月の2か月間、大学生の議員インターンシップの受け入れをおこないました。これを機に政治を身近に感じてくれるとうれしいです。

NPO法人ドットジェイピーのインターンシップ活動として、2ヶ月間太田議員のもとで活動しました。ポスティングから政務活動費の調査、市議会の傍聴まで様々な体験をし、とても貴重な経験となりました。活動前は、議員の仕事というと議会で会議をしているイメージが強かったのですが、通信配りやポスティングなど、地道で体力の要る活動も多いことに驚きました。また、市民の方との座談会など、市民の生活に寄り添った活動をされていることが分かりました。

その他にも、市役所職員の方のお話を聞いたり、様々な方と接する機会を頂き、自分の将来や考え方を見つめ直すきっかけにもなりました。初めは緊張しましたが、すぐに活動が楽しくなりました。

インターンシップを通して、一回り成長出来たのではないかと思います。

（香川大学法学部1回生　藤原冬陽）

■被災者生活再建支援法改正案の早期成立を求める意見書

この夏の大きな地震、 記録的な豪雨、 相次ぐ大型台風の上陸に、 わたしたちは災害多発国日本の厳しい現実を、 改めて突きつけられました。 今、 どこでどのような大規模災害が起きても不思議ではない状況です。

現在、 国においては被災者生活再建支援法改正案が野党4党によって提出されています。

住宅が損壊した被災者への支援金の最高額を300万円から500万円に引き上げる、 その支給範囲も全壊世帯から半壊世帯への拡大を検討する、 といった内容です。

この意見書は、 この被災者生活再建支援法改正案の早期成立を国に求めるというものです。

■国などによる障害者雇用水増し問題の真相解明を求める意見書

公的機関や民間企業は障害者雇用促進法により、 一定割合以上の障害者を雇う義務があります。 対象者は原則、 身体障害者手帳などを持つ人。 しかし、 多くの省庁や自治体が、 手帳の交付のない人など対象外のケースを雇用数に含めていました。 国の行政機関の雇用率は昨年6月で2.49%と公表されていましたが、実際は1.19%と法律で決められた障害者の雇用率を大きく下回っていました。

今回の件は、 ハンディを乗り越え自立しようと努力する人たちに対し、 あまりに無神経な対応です。 そこで、①水増しがおこなわれてきた42年間の累計の水増し人数を明らかにすること、②政府が公表している各種データの正確性について再精査すること、③障害当事者団体の代表などを含む、 透明度の高い検証体制の確立。 以上3点について、 国に求める意見書です。

この意見書に「反対」の理由がわからない！
一般質問で障害者雇用の水増し問題や、豪雨災害を取り上げた議員は大勢いるのに！

賛成（9）…市民派改革ネット、 共産党、 市民フォーラム21 反対（31）…自民党、 同志会、 公明党、 無所属	どちらの意見書も賛否は同じで、両方とも否決に。

岡山県矢掛町のコンビニ駐車場

7月5日に起きた西日本豪雨。 西日本の広範囲で甚大な被害をもたらしました。 7月11日に岡山県矢掛町、 15日に愛媛県大洲市へ災害ボランティアに行きました。 写真は矢掛町のコンビニです。 商品はすべて流れ出し、 氾濫した川からの土砂が堆積し、 フェンスには草が絡まっています。 家財の運び出しを手伝ったお宅は高齢女性の一人暮らし。「それでも、 ここで暮らしていくしかない」と呟いておられました。 今回の川の氾濫は、 上流のダムの放流との関係が指摘されています。 塩江町にも建設中の椛川ダムがありますが、 ダムのあり方を考え直す時期にきていると思います。

1日も早く、 被災者の皆さんが普段通りの生活に戻れるように、 できることを続けたいです。

おしらせ

12 月定例会の議案や議会のこと、普段の生活のことなど、なんでも気軽にお話しする会です。

みんなとあゆみのおしゃべり会

12 月 2 日（日）14:00 ～ 16:00　　会場：太田あゆみ政策事務所

高松市議会　12 月定例会

12 月 5 日（水）～ 20 日（木）予定　ぜひ傍聴にいらしてください！

市民派改革ネット議会報告会

【昼の部】1 月　6 日（日）13:30 ～　瓦町 FLAG8 階市民活動センター会議室

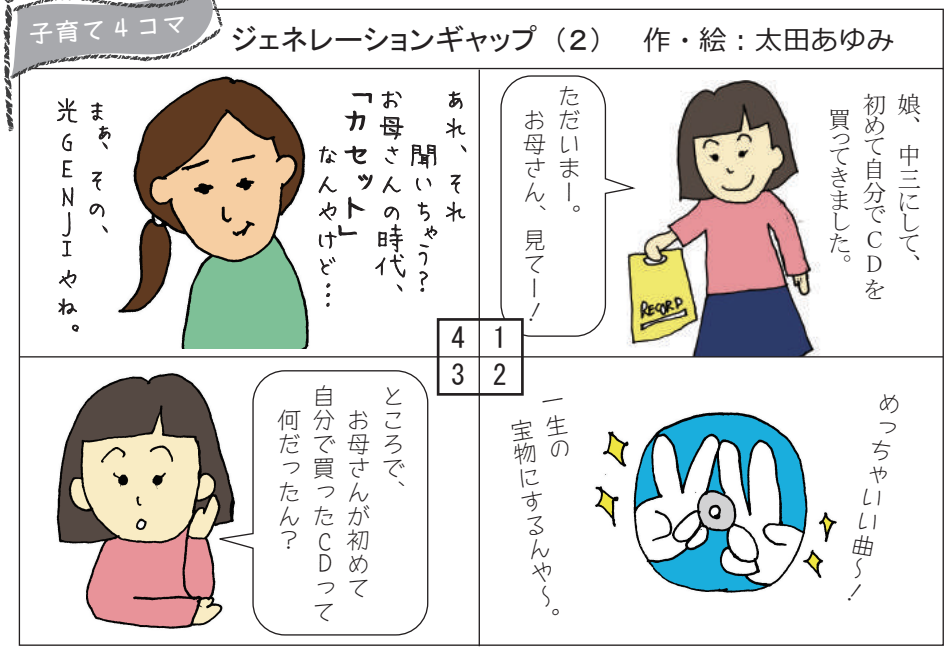
【夜の部】1 月 10 日（木）18:30 ～　生涯学習センターまなび CAN 小研修室

※無料、出入り自由、お子様連れ OK。

※昼の部と夜の部で会場が異なります、ご注意ください。

10 月におこなった議会報告会の様子です。　⇒
参加者との活発な意見交換をおこなうことができました。

子育て 4 コマ　ジェネレーションギャップ（2）　作・絵：太田あゆみ



■ 報酬の使途を公開します

7 月	
議員報酬	608,000 円
源泉所得税	42,290 円
県市民税	50,000 円
国民年金	16,290 円
国民健康保険	94,500 円
福利厚生経費	10,000 円
議員活動費	116,098 円
あゆみのあゆみ印刷代	112,780 円
みんなと未来へあゆみ隊へ	30,000 円
太田生活費・その他活動費	136,042 円

8 月	
議員報酬	608,000 円
源泉所得税	42,290 円
県市民税	50,000 円
国民年金	16,290 円
国民健康保険	94,100 円
議員活動費	35,806 円
みんなと未来へあゆみ隊へ	30,000 円
太田生活費・その他活動費	339,514 円

9 月	
議員報酬	608,000 円
源泉所得税	42,290 円
県市民税	50,500 円
国民年金	16,290 円
国民健康保険	94,100 円
議員活動費	39,029 円
みんなと未来へあゆみ隊へ	30,000 円
太田生活費・その他活動費	335,791 円

●費用弁償（議会出席手当、1 日あたり 3,000 円）は受け取りを拒否しています。

■ご意見・ご感想はこちらから →　mm_ayumitai@outlook.jp

活動報告　よりぬき 7・8・9 月

【7 月】

1 日「標的の村」上映会、市民派改革ネット議会報告会（昼の部）／2 日 議会運営委員会（傍聴）／4 日 高松空襲跡を歩く会／5 日 市民派改革ネット議会報告会（夜の部）／7 日 七夕ピースウォーク／10 日 印鑰智哉さん種子法学習会（コープ自然派主催）／11 日 岡山県矢掛町災害ボランティア／15 日 愛媛県大洲市災害ボランティア／17 ～ 23 日「あゆみのあゆみ」配布、街頭演説（瓦町、片原町、田町、兵庫町、高松築港、三条）／22 日 福島県郡山市にて講演「無関心やめて議員に」／27 日 議会運営委員会（傍聴）／30 日 建設消防常任委員会／31 日 高松市競輪事業検討委員会（傍聴）

【8 月】

1 日 地方議員セミナー（待機児童・保育士不足と地方行政、東京）／2,3 日 1 から学ぶ自治体財政（東京）／6 日～ 議員インターンシップ（9 月末まで）／11 日 憲法セミナー／17 日「SAVE HENOKO」上映会／18 日 ロシナンテ社・四方さん講演会「市民・住民運動を 40 年見てきて」／20,21 日 建設消防常任委員会先進地視察（豊田市、名古屋市）／24,25 日 全国政策研究集会 in 沼津／28 日 建設消防調査会／29 日 高松市競輪事業検討委員会（傍聴）／30 日 自治会の在り方等プロジェクトチーム会議（傍聴）／30 日 大谷大学同窓会支部総会

【9 月】

2 日 みんなとあゆみのおしゃべり会／2 日 子どもの子ども医療費、中学生まで無料化をめざす市民シンポジウム／4 日 議会運営委員会（傍聴）／6 日 高松市議会 ICT プロジェクトチーム／7 ～ 26 日 高松市議会 9 月定例会／8 日 相沢恭行さんトーク & ライブ「音楽とアートを通して知るイラク、中東アラブ世界」／16 日 松島地区敬老会（来賓）／19 日 議会運営委員会（傍聴）／20 日 総務常任委員会（傍聴）

太田あゆみ（高松市議会議員 1 期目）
1980 年生まれ、38 歳
大手前高松高校、大谷大学卒業
www.ayumirai.com/
www.facebook.com/ayumi.oota
@ayumi_step
@ota_ayumi.tkmt

あとがき

伊方原発の再稼働が決まりました。
わたしには、原発事故によって香川に移住してきた友人が多くいます。今も福島ではふるさとに帰れない人がいます。
原発災害は人権侵害。今年の猛暑でも、電気は足りていました。地震や台風の中、原発事故が起こっても避難はできません。わたしは、これからもぶれずに原発反対を訴え続けていきます。

ひとりでも多くの市民のみなさまに議会や市政の情報をお届けするために、勝手ながらポスト投函させていただいています。また、手配りで配布させていただいていますので、お手元にタイムリーにお届けできない場合があります。ご了承ください。